

江 監 第 2 号  
平成29年1月27日

江 田 島 市 長 様  
江 田 島 市 議 会 議 長 様

江田島市監査委員 佐 野 博 隆

江田島市監査委員 濱 先 秀 二

### 財政援助団体等に対する監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等に対する監査を実施したので、同法同条第9項、第10項の規定に基づき、その結果及び意見を報告します。

# 目 次

	ページ
第1 監査の概要	1
1 監査の種類	1
2 監査の期間	1
3 監査の対象	1
4 監査事項	1
5 監査の方法	1
第2 監査の結果	2
1 公益社団法人江田島市シルバー人材センター	2
2 江田島バス株式会社	8
3 江田島市オーリーブ振興協議会	14
4 江田島市観光協会	18
第3 終わりに	23

## 第1 監査の概要

### 1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

### 2 監査の期間

平成28年9月7日から平成29年1月27日まで

所管課監査 平成28年9月26日

本監査 平成28年9月29日、10月5日

### 3 監査の対象

- (1) 公益社団法人江田島市シルバー人材センター
- (2) 江田島バス株式会社
- (3) 江田島市オリーブ振興協議会
- (4) 江田島市観光協会

### 4 監査事項

地方自治法第199条第7項の規定により、「市が補助金、交付金、負担金、貸付金、損失補償、利子補給その他の財政的援助を与えているものの出納その他の事務の執行で当該財政的援助に係るもの」また、「市が出資しているもので政令で定めるもの」及び「市が法第244条の2第3項の規定に基づき公の施設の管理を行わせているもの」について、公金及び公の施設の管理に係る事務が適正に執行されているかについて監査する。

### 5 監査の方法

平成26年度及び平成27年度の決算書及び団体から市に提出された事業報告書を対象とし、財政援助等に係る出納及びその他の事務の執行状況について、必要な資料の提出を求め、現地調査を実施し、それぞれの責任者及び担当者から経理等について聴取するとともに、関係書類の抽出検査により監査を行った。

なお、江田島市観光協会の監査については、地方自治法第199条の2の規定により、濱先秀二監査委員は監査執行上除斥された。

## 第2 監査の結果

### 1 公益社団法人江田島市シルバー人材センター

#### (1) 団体の概要

所在地 本 所 江田島市江田島町中央一丁目 15 番 15 号  
大柿支所 江田島市大柿町大原 1118 番地 2

設 立 平成 17 年 4 月 1 日

会員数 203 名(男 155 名, 女 48 名) (平成 28 年 3 月 31 日現在)

役職員 理事長  
副理事長 1 名  
理 事 10 名 (理事長・副理事長を除く)  
監 事 2 名  
事務局 8 名 (理事長, 副理事長, 職員 6 名)

沿 革 平成 4 年 10 月 20 日設立の旧江田島町シルバー人材センターと旧大柿町高齢者事業団が合併し, 平成 17 年 4 月 1 日社団法人江田島市シルバー人材センターとして発足した。また, 平成 23 年 4 月 1 日付けで「社団法人」から「公益社団法人」へ移行している。

事業目的 シルバー人材センターは, 高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業その他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し, 組織的に提供することなどにより, その能力を生かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して, 高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り, 活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としている。

(2) 財政援助等の内容

財政援助等の名称	平成 27 年度 決算額	平成 26 年度 決算額	財政援助等 の種類	市の所管課
シルバー人材センター事業 補助金	8,780,000 円	8,000,000 円	補助金交付 団体	医療介護保 険課
生活援助（ハーフボランテ ィア事業）サポート事業補 助金	470,000 円	470,000 円	補助金交付 団体	医療介護保 険課
植木剪定枝葉チップ事業補 助金	2,000,000 円	2,360,000 円	補助金交付 団体	環境課
シルバーワークプラザ指定 管理委託料	0 円	0 円	公の施設の 指定管理者	医療介護保 険課

(3) 事業の状況

ア 地域に密着した仕事を個人，事業者，官公庁から受注し，会員に請負，委任，派遣という形で就業機会を提供している。

	平成 27 年度	平成 26 年度
受注件数	2,272 件	2,241 件
就業延人員	16,187 人日	16,666 人日
契約金額	80,109,814 円	80,758,468 円

イ 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習（植木剪定講習会，料理講習会，安全運転講習会）や安全適正就業推進活動など社会参加を推進するための諸活動を実施している。

ウ 生活援助（ハーフボランティア事業）サポート事業は，70 歳以上の一人暮らし及び夫婦のみの世帯，一人暮らしの障害者を対象にごみ出し，買い物など 100 円と 500 円のワンコインサービスを実施している。

エ 環境保全美化推進事業（植木剪定枝葉チップ事業）は，植木剪定業務で発生する枝葉をリレーセンターに持ち込まず，チップ化して土壌改良材等にリサイクルすることにより，ごみの減量化，地球温暖化対策に貢献し，保育園・小学校・自

治会等にチップを提供している。市としてもごみ処理料金（1kg 当たり：呉市処理料金 30 円－市投入手数料 11 円＝19 円）の経費削減につながっている。

年間処理量は、平成 27 年度 71,142kg、平成 26 年度 78,325kg である。

(4) 経営の状況

正味財産増減計算書

(単位：円)

項 目	平成 27 年度	平成 26 年度
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受託事業収益	80,109,814	81,099,068
指定管理事業等受託収益	2,689,450	2,234,095
労働者派遣事業等受託収益	948,419	559,423
シニアワークプログラム技能講習共同費収益	0	340,000
受取会費	419,500	407,000
受取補助金	20,470,000	18,580,000
（うち受取市区町村補助金）	8,780,000	8,000,000
（うち受取企画提案方式市）	2,470,000	2,830,000
受取負担金	13,500	8,000
受取寄付金	0	3,280
雑収益	187,690	181,880
経常収益計	104,838,373	103,412,746
(2) 経常費用		
事業費	101,735,444	101,704,488
管理費	2,516,773	1,322,142
経常費用計	104,252,217	103,026,630
評価損益等調整前当期経常増減額	586,156	386,116
評価損益等計	0	0
当期経常増減額	586,156	386,116
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
固定資産受贈益	0	30,000
経常外収益計	0	30,000

(2) 経常外費用		
固定資産除却損	24,920	61,714
経常外費用計	24,920	61,714
当期経常外増減額	△ 24,920	△ 31,714
当期一般正味財産増減額	561,236	354,402
一般正味財産期首残高	16,482,306	16,127,904
一般正味財産期末残高	17,043,542	16,482,306
Ⅱ 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	0	0
指定正味財産期末残高	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	17,043,542	16,482,306

貸借対照表

(単位：円)

項 目	平成 27 年度	平成 26 年度
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	10,499,443	11,208,147
未収金	8,254,209	6,720,655
流動資産計	18,753,652	17,928,802
2 固定資産		
(1) 特定資産		
財政運営資金積立資産	0	0
特定資産計	0	0
(2) その他の固定資産		
建物	1,360,186	1,479,038
車両運搬具	2,892,758	2,886,085
什器備品	662,302	410,571
電話加入権	167,272	167,272
預託金	78,130	71,910
その他固定資産計	5,160,648	5,014,876
固定資産計	5,160,648	5,014,876

資産合計	23,914,300	22,943,678
Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	6,717,553	6,295,913
預り金	153,205	165,459
流動負債計	6,870,758	6,461,372
2 固定負債		
固定負債計	0	0
負債合計	6,870,758	6,461,372
Ⅲ 正味財産の部		
1 指定正味財産	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0
2 一般正味財産	17,043,542	16,482,306
(うち基本財産への充当額)	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0
正味財産合計	17,043,542	16,482,306
負債及び正味財産合計	23,914,300	22,943,678

(5) 監査結果

ア 補助金等は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね適正に執行されていると認めた。

補助金の実績報告と指定管理の事業報告等について、見直し又は検討を要する事項が見受けられた。

イ シルバー人材センター事業補助金は、市が国と同額以上の補助金を交付することで、団体は国の補助金の限度額を受けることができる仕組みになっていることから、市は国の補助金と同額を交付している。

補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額、受領金額は適正に処理されている。ただし、シルバー人材センター事業補助金と生活援助（ハーフボランティア事業）補助金は、申請は個々にしているが、実績報告は両方を合わせてしていたので、申請ごとに実績報告書を提出されたい。平成27年度実績報告書に添付されていた決算書について、貸借対照表の固定資産及び一般正味財産の金額が総会時の決算書の数値と一致しなかったが、これは、実績報告時から総会時までには決算書の訂正があったためであった。後日訂正後の報告書が市に提出

- されたことを確認した。平成 26 年度実績報告については、問題はなかった。
- ウ 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
- 団体では、決算時期だけでなく 4 半期ごとに監事が監査を実施されており、会計管理に気を配っていることが伺えた。
- エ 期首及び期末における現預金の残高は、現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
- オ 定款・規約・諸規程等はすべて整備されている。
- カ シルバー人材センターの事務所を置いているシルバーワークプラザの指定管理委託については、平成 28 年 4 月 1 日に向こう 5 年間の運営管理に関する協定を締結している。指定管理業務の範囲は、①施設の利用調整に関する業務、②施設の維持管理及び修繕に関する業務（管理業務・経費は分担）③利用料金の収受に関する業務である。協定書に指定管理料の規定はない。指定管理委託料は無料であった。現在まで施設の利用申請がないため、利用料金も収受していない。指定管理者としての業務として、施設、設備の小規模修繕や光熱水費を含む業務運営上必要な経費の負担が生じる。事業報告書及び収支決算書は市に提出されていないので、提出し市の承認を受けること。

(6) まとめ

平成 28 年 9 月末現在、本市の 65 歳以上人口（外国人を除く）は 10,276 人で、高齢化率は 42.76%である。シルバー人材センターの平成 28 年 3 月末現在の会員数は 203 人である。本格的な高齢化が進むなか、高齢者が永年積み重ねてきた豊かな知識と経験を活かし働くことにより、社会に参加し喜びや生きがいを見いだせるよう、また、今後とも活力ある地域社会づくりに寄与されるよう尽力されたい。

## 2 江田島バス株式会社

### (1) 概要

所在地 江田島市能美町中町 4553 番地 1

創 立 昭和 62 年 12 月 7 日（平成 20 年 4 月 1 日社名変更）

資本金 1 億円 資本剰余金 1 億 7 千万円 合計 2 億 7 千万円

発行済株式総額 5,400 株

株主	株主名	持株数	持ち株比率
	江田島市	5,280 株	97.78%
	株式会社広島銀行	40 株	0.74%
	菱鹿運輸商事株式会社	40 株	0.74%
	自己株式(江田島バス)	40 株	0.74%

役職員 (平成 28 年 9 月 1 日現在)

代表取締役

常務取締役 1 名

取締役 2 名

監査役 1 名

従業員 総務課 2 名

運行課 23 名

沿 革 昭和 63 年 4 月 7 日を以って呉市交通局が運行していた江能線のうち、江田島（小用）～大柿線を残して旧能美町，沖美町，大柿町の一部バス路線が廃止されることになり，昭和 62 年 12 月 7 日，廃止路線代替バス会社として，旧四町を中心とする第三セクターで旧能美バス株式会社が創立された。

平成元年 5 月からは自主路線も開設され，平成 20 年 4 月 1 日には呉市交通局の路線を引き継ぎ，江田島市内の路線を一元化し，江田島バス株式会社と社名変更した。国内旅行業は平成 19 年 4 月に，海運部は平

成 24 年 3 月に廃止となっている。

- 事 業 一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）  
 一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス・スクールバス）

(2) 財政援助等の内容

財政援助等の名称	平成 27 年度 決算額	平成 26 年度 決算額	財政援助等 の種類	市の所管課
生活交通路線維持費補助金	46,663,000 円	47,092,000 円	補助金交付 団体	企画振興課
広域生活交通路線確保 維持費補助金	5,980,000 円	5,215,000 円	補助金交付 団体	企画振興課
江田島バス株式会社出 資金	出資金現在高	264,000,000 円	出資団体	企画振興課

(3) 事業の状況

一般乗合旅客自動車運送事業，路線バスは，市内 13 路線 26 系統（うち切串・秋月の 2 路線は休止中）での旅客運送を行っている。バスの走行実績は，乗合，みなし 4 条合わせて，第 27 期(25.10.1～26.9.30) 493,761.3km，第 28 期(26.10.1～27.9.30) 493,244.3km である。

一般貸切旅客自動車運送事業，貸切バスは，研修，レクレーション，葬儀等でマイクロバス又はバスの一般貸切を行っている。スクールバスは，市教育委員会との運転業務契約によるものである。走行実績は，第 27 期(25.10.1～26.9.30) 15,176.0km，第 28 期(26.10.1～27.9.30) 18,416.0km である。

(4) 経営の状況

損益計算書

(単位：円)

項 目	第 28 期 26.10.1～27.9.30	第 27 期 25.10.1～26.9.30
純売上高	112,032,591	110,184,270
普通運賃	37,656,439	37,378,976
定期運賃	23,136,057	23,131,593
回数運賃	11,524,747	12,085,505

貸切運賃	39,455,348	37,258,196
広告料	260,000	330,000
売上総利益	112,032,591	110,184,270
販売費及び一般管理費	159,981,946	160,054,765
人件費	118,009,670	115,321,728
軽油費	13,932,123	17,143,015
修繕費	10,451,774	9,609,079
保険料	3,904,460	4,553,080
減価償却費	4,102,567	3,520,811
租税公課	1,145,950	1,234,800
その他	8,435,402	8,672,252
営業損失	47,949,355	49,870,495
営業外収益	63,507,031	72,135,345
受取利息	52,608	52,354
受取補助金	63,402,000	71,876,000
雑収入	52,423	206,991
営業外費用	189	135
雑損失	189	135
経常利益	15,557,487	22,264,715
特別利益	28,432	24,728
貸倒引当金戻入益	28,432	24,728
特別損失	—	1
固定資産除却損	—	1
税引前当期純利益	15,585,919	22,289,442
法人税、住民税及び事業税	4,360,978	7,935,528
当期純利益	11,224,941	14,353,914

貸借対照表

(単位：円)

項 目	27.9.30 現在	26.9.30 現在
資産の部		
流動資産	263,315,902	254,990,257
現金及び預金	258,234,238	249,605,659
立替金	124,708	503,110

未収入金	4,985,890	4,909,920
貸倒引当金	△28,934	△28,432
固定資産	10,858,535	12,382,210
有形固定資産	10,285,673	11,727,048
建物	5,325,527	5,977,368
建物付属設備	785,744	917,039
構築物	1,766,367	1,784,344
車両運搬具	401,011	19
工具器具備品	2,007,024	3,048,278
無形固定資産	247,502	337,502
ソフトウェア	247,502	337,502
投資その他資産	325,360	317,660
リサイクル預託金	325,360	317,660
資産の部合計	274,174,437	267,372,467
負債の部		
流動負債	8,031,104	12,454,075
未払金	2,299,755	3,109,228
源泉預り金	219,427	228,788
社保預り金	423,922	417,859
預り金	—	62,000
住民税預り金	273,600	237,000
未払法人税等	731,600	5,563,400
未払消費税等	4,082,800	2,835,800
負債の部合計	8,031,104	12,454,075
純資産の部		
株主資本	266,143,333	254,918,392
資本金	100,000,000	100,000,000
資本金	100,000,000	100,000,000
資本剰余金	170,000,000	170,000,000
資本金減少差益	170,000,000	170,000,000
利益剰余金	△2,976,667	△14,201,608
繰越利益剰余金	△2,976,667	△14,201,608
自己株式	△880,000	△880,000

自己株式	△880,000	△880,000
純資産の部合計	266,143,333	254,918,392
負債及び純資産の部合計	274,174,437	267,372,467

第28期決算による財務状況は、資産では流動資産263,316千円(うち現預金258,234千円、現預金及び未収入金263,220千円)、固定資産10,858千円、合計274,174千円となっている。これに対して負債・純資産は、流動負債8,031千円(有利子負債なし)、固定負債はなく、純資産は266,143千円である。

財務の流動性、安全性をみるための財務比率は、流動比率3278.7%(200%以上が理想)で資金繰りについては良好である。当座比率3277.5%(100%以上が望ましい)と支払資金の調達についても良好な状態である。

損益については、純売上高112,033千円で、これに対して販売費及び一般管理費159,982千円で、差引47,949千円の経費超過となっている。販管費の主なものは、人件費118,010千円、軽油費13,932千円、修繕費10,452千円となっている。

#### (5) 監査結果

- ア 補助金等は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね適正に執行されていると認めた。
- イ 生活交通路線維持費補助金及び広域生活交通路線確保維持費補助金は、江田島市バス運行対策費補助金交付要綱の規定により、適正に処理されている。
- ウ 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
- エ 期首及び期末における現預金の残高は、現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
- オ 定款・規約・諸規程等はすべて整備されている。
- カ 江田島バス株式会社出資金は、第三セクター設立に対して旧町、路線一元化に対して市が出資しているが、設立目的に沿った事業運営が行われている。
- キ 会計管理者は、株券を良好に保管していた。
- ク 江田島市副市長が取締役になっており、取締役会での各種審議を通して出資者としての権利行使が行われている。

#### (6) まとめ

江田島バスは市内で唯一のバス会社で、市内すべての路線を運行している。自家用車の普及や人口減によりバスの利用者は多くはないが、特に交通弱者の移動手段として路線バスはなくてはならない。市は、江田島バスの発行株式のうち持ち株比率

97.78%の大株主であり，市民の移動手段である生活路線を守るため，赤字路線に対して補助金を交付している。また国や県も補助金を交付している。江田島バスは，社名変更時から累積赤字は減少しているが，引き続き経営努力をしていただきたい。

### 3 江田島市オリーブ振興協議会

#### (1) 団体の概要

設 立 平成23年6月20日

役 員 会 長  
副会長 1名  
監 事 2名

構成員 生産者会員 3名  
関係団体会員 3名  
協力機関（アドバイザー）2名  
事務局・会計（市農林水産課職員） 5名

沿 革 市内の耕作放棄地対策を行う起爆剤として、栽培が比較的容易で、取り組みやすく、将来的に農業以外への波及効果も期待できる、オリーブの導入推進を新たに始めた。このオリーブの振興を関係者が協力・連携し、強力で推進していくため、協議会を設立し、オリーブ産地の構築を目指すこととなった。

事 業 オリーブに関する産業の振興  
適正なオリーブ栽培技術の普及  
販売・加工に関する調査研究  
「江田島ブランド」を確立し、消費拡大に関する普及宣伝  
協議会の事業に必要な施設の設置・管理・運営  
その他目的達成のために必要な事項

#### (2) 財政援助等の内容

財政援助等の名称	平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	財政援助等 の種類	市の所管課
江田島市オリーブ振興協議会活動事業補助金	4,520,000円	4,520,000円	補助金交付 団体	農林水産課 (オリーブ 振興室)

(3) 事業の状況

ア オリーブ苗木助成配布

	平成 27 年度 平成 28 年 3 月配布	平成 26 年度 平成 27 年 3 月配布	平成 28 年 3 月配布まで の合計
配布本数	931 本	1,901 本	9,373 本
	(内訳) 民間農地 423 本 民間宅地等 82 本 企業 426 本	(内訳) 民間農地 1,577 本 民間宅地等 125 本 企業 199 本	(内訳) 民間農地 6,857 本 民間宅地等 1,311 本 企業 1,205 本
配布人数	59 人	107 人	651 人
	(内訳) 民間農地 45 人 民間宅地等 12 人 企業 2 者	(内訳) 民間農地 83 人 民間宅地等 22 人 企業 2 者	(内訳) 民間農地 454 人 民間宅地等 125 人 企業 3 者
苗木購入金額	2,668,912 円	4,193,912 円	—
苗木購入自己 負担金額	519,500 円	826,240 円	—

イ オリーブの配布分布

個人配布本数 8,168 本

沖美町 3,002 本 (農地 2,699 本, 宅地等 303 本)

能美町 2,008 本 (農地 1,755 本, 宅地等 253 本)

大柿町 1,619 本 (農地 1,223 本, 宅地等 396 本)

江田島町 1,539 本 (農地 1,180 本, 宅地等 359 本)

企業配布本数 1,205 本

ウ モデルオリーブ園等の維持管理 (17 か所・219 本)

市内 3 か所のモデルオリーブ園 126 本 (柿浦 93 本・沖 26 本・小用 7 本), 県道大君深江線 (深江) 25 本, 江田島市浄化センター16 本, その他 12 か所・52 本の維持管理は, オリーブ振興協議会のほか, 自治会・まちづくり協議会・老人クラブ・市役所・大柿高校・民間団体等が行っている。

エ その他, オリーブ講習会開催 (防除・栽培管理・剪定), オリーブ果実買取説

明会開催，モデルオリーブ園収穫・出荷，オリーブ収穫体験会開催，オリーブ料理教室・せっけん教室開催，各種イベントへの参加，視察研修，オリーブジャパン参加（東京で開催される日本で最大のオリーブをテーマにしたイベント）等の事業を実施している。

(4) 収支の状況

収支決算書

(単位：円)

項 目	平成 27 年度	平成 26 年度
1 収入の部		
協議会運営費補助金	0	0
苗木購入者負担金	519,500	826,240
オリーブ活動費補助金(市補助金)	4,520,000	4,520,000
環境緑化支援事業補助金 (県みどり推進機構補助金)	90,000	90,000
企業参入農地再生事業補助金(市)	0	265,000
諸収入	770,650	540,699
前年度繰越金	315,456	578,539
収入合計	6,215,606	6,820,478
2 支出の部		
展示圃維持管理費	516,943	266,289
苗木購入費	2,668,912	4,193,912
講習会費	272,526	201,450
P R 活動費	749,273	722,101
視察研修費	599,946	342,487
加工施設整備費	156,600	408,240
加工施設維持管理費	176,655	364,509
栽培指導委託費	2,592	0
会議費	0	6,034
予備費	0	0
支出合計	5,143,447	6,505,022
収支残高(次年度繰越金)	1,072,159	315,456

(5) 監査結果

関係諸帳簿は、計数的には正確に処理されていることを認めたが、不適切で見直しの必要な事項が多く見受けられた。また、事務処理についても、不適切で見直し又は検討を要する事項が見受けられた。

ア 視察研修等の懇親会飲食費について、参加者負担金は徴収しているが、経費を一部協議会で負担している事案があった。

イ 視察研修で、協議会の事業目的にそぐわない施設の入場料を支出していた。

ウ 視察研修の旅行代金の根拠書類として、請求書・領収書は添付されているが、明細書が添付されていない。

エ 前渡資金の処理について、精算はしているようであるが、精算書が添付されていない。

オ 視察研修旅費について、旅費計算に一貫性がないので、旅費規程を定めて、規程に基づき適正に処理すること。

(6) まとめ

オリーブ振興協議会の経費は、会費・補助金・寄付金・その他収入をもって充てると協議会規約で定められているが、実際は、ほぼ市の補助金で賄われている。

所管課としても、補助金を交付している以上、補助金が適切に使われているかを審査及び必要に応じて調査し、指導・監督する必要があるが、この補助金を交付決定する部署と協議会の会計を扱う部署が同じであるため、現実には、同一人が全てを行っている。

所管課として行う例月出納検査表で、部長決裁を受けていることは確認したが、本来は、財政援助を行う側と受ける側で一線を画すべきであり、改善を望む。

## 4 江田島市観光協会

### (1) 団体の概要

所在地 江田島市江田島町中央一丁目3番10号

設立 平成17年4月25日

会員数 203名(男155名, 女48名) (平成28年3月31日現在)

役員 会長

副会長 3名

理事 25名(会長・副会長を除く)

監事 2名

事務局 事務局長 空席

職員 4名(うち事務局長代理1名)

ふるさと交流館 職員 2名

沿革 旧江田島町, 旧能美町, 旧沖美町, 旧大柿町の合併による新市誕生により, 平成17年4月25日, 旧四町の観光協会が合併して, 江田島市観光協会が設立された。

### 事業目的と事業

観光協会は, 地域の持つ優れた観光資源を紹介し, 観光客の誘致拡大に努めるとともに, 魅力ある広域観光ルートの整備などの滞留性を高める観光振興策を官民一体となって効率的に推進し, 観光事業・各種地域産業の発展に寄与することを目的とし, 次の事業を実施する。

- ・広域観光ルートの整備促進
- ・観光振興のためのイベントの企画・運営
- ・観光関連資料の収集及び情報の提供
- ・観光地の美化・観光案内施設の整備及び観光地の環境整備
- ・その他目的達成に必要な事業

(2) 財政援助等の内容

財政援助等の名称	平成 27 年度 決算額	平成 26 年度 決算額	財政援助等 の種類	市の所管課
観光協会助成事業補助金	7,747,000 円	7,747,000 円	補助金交付 団体	観光振興課
ふるさと交流館指定管理委 託料	2,983,000 円	2,983,000 円	公の施設の 指定管理者	観光振興課

(3) 事業の状況（平成 27 年度）

ア 主催事業

江田島市フォトコンテスト（8月、62名191点応募）  
ふれあい産業まつり（ヒロシマMIKANマラソン大会共催）  
えたじま海の生きもの観察とかき小屋&みかん狩り（11月、35名参加）  
えたじまウォーキング 2016（3月、450名参加）

共催事業

広島・江田島船フェスタ（5月）  
ちびっ子無人島探検インえたじま（7月）  
モニターツアー「江田島愛ランド『ぐるりんバス』」（8月、20名参加）  
ファミリーキャンプインえたじま（8月）  
秋の江田島みんなでサイクリング（9月、85名参加）  
しまコンえたじま VOL.6  
シーサイド温泉のうみ かき小屋オープンイベント  
（11月～鮮魚3回、野菜3回販売）  
第39回江田島市駅伝大会  
モニターツアー「江田島お宝拝見物語『花日和と旬の彩り』」  
（3月～60名参加）

その他

協賛8事業、後援4事業、各種イベントへの出店6回、  
兵姫ストライク×物語の島江田島アプリ構築

## (4) 収支決算報告書の状況

## 観光協会収支決算報告書

(単位：円)

項 目	平成 27 年度	平成 26 年度
1 収入の部		
会費	635,000	655,000
法人会費	455,000	475,000
個人会費	180,000	180,000
補助金	13,011,723	8,747,000
江田島市	7,747,000	7,747,000
日本財団	720,000	1,000,000
兵姫ストライク事業補助金	4,544,723	0
雑収入	59,800	42,048
名刺摺込料	59,800	9,775
その他	0	32,273
利息	699	501
事業収益 協会自主事業	1,197,161	1,016,350
レンタサイクル利用料	1,042,850	941,350
日本財団事業収入	52,000	75,000
その他	102,311	0
前年度繰越金	3,485,358	1,815,608
収入合計	18,389,741	12,276,507
2 支出の部		
観光協会事業費	10,979,264	7,072,090
車両整備事業	213,082	340,547
アウトドアアイランド事業	1,866,263	1,359,070
まちおこしプロジェクト事業	2,647,154	3,386,403
ボランティアガイド支援事業	200,000	0
兵姫ストライク事業	4,544,723	0
情報発信整備事業	1,508,042	1,986,070
管理運営費	2,456,540	1,299,059
会費（負担金）	149,000	144,000
消耗品費	1,167,409	911,009

通信運搬費	155,567	72,788
研修費	83,620	0
旅費	143,280	30,800
手数料	98,881	119,442
会議費	29,120	21,020
公租公課	609,863	0
会計ソフト利用料	19,800	0
イベント補助金	1,166,830	420,000
予備費	690,000	0
次年度繰越金	3,097,107	3,485,358
支出合計	18,389,741	12,276,507

ふるさと交流館収支決算報告書

(単位：円)

項 目	平成 27 年度	平成 26 年度
1 収入の部		
ふるさと交流館販売事業	3,329,061	3,748,808
特産品販売収入	2,874,488	3,348,751
宅配便代理手数料	6,233	6,387
喫茶収入	448,340	393,670
ふるさと交流館業務委託費	2,983,000	2,983,000
雑収入	0	31,840
利息	234	219
前年度繰越金	1,723,608	1,347,954
収入合計	8,035,903	8,111,821
2 支出の部		
ふるさと交流館事業費	4,362,141	4,758,716
人件費	1,812,206	1,796,971
事業費	2,549,935	2,961,745
管理運営費	3,183,931	1,629,497
消耗品費	1,951,559	376,363
通信運搬費	162,470	199,151
手数料	17,064	73,500
水道光熱費	792,674	769,301

維持管理費	260,164	211,182
予備費	0	0
次年度繰越金	489,831	1,723,608
支出合計	8,035,903	8,111,821

(5) 監査結果

平成 28 年 7 月末に事務局長が退職した後、事務局長不在のまま、事務処理が行われている。また他の職員についても定着しない状況から、事務の引継ぎが円滑に行われない状況が生じている。

そのためか、決算報告書の内容や関係諸帳簿について疑義があり、指摘や質問を行ったが、十分な回答が得られなかった。

ア 決算報告書の計数に、関係諸帳簿と符合しないものが認められた。

イ 決算報告書では、支出額が予算額を超過する科目が複数見受けられた。また、予備費から直接支出しているものもあり、予算の調整はされておらず、よって予算の統制もなされていない。

ウ 法人税及び消費税は、期限までに申告すべきであるが、それができていなかったために、自主的に税務署に相談し、平成 27 年度に過去 5 年分の法人税及び消費税をまとめて申告している。その結果、延滞税、加算税の支払いが生じている。

エ 前回の監査で指摘した各種規程の不備のうち、その後就業規則、給与規程、決裁規程、旅費規程、臨時職員取扱要綱、アドバイザー事業実施要綱が整備されていたが、経理規程はいまだに整備されていない。

(6) まとめ

経理について、適正な会計処理の質の担保がなされていないことは問題である。

以前は商工会に委託していた総勘定元帳などの記帳を含め、全ての経理をその後自前とするようになっていた。これについて、団体及び市所管課では、例月出納検査を行っている。平成 28 年度からは検査の利便を図るため、新たに収入調書及び支出命令書を作成し、伝票のチェックを受けている。

それにもかかわらず、例月出納検査でチェックされるべき事項が見落とされていることは問題で、決算報告書と関係帳簿の不整合の原因の一つになっていると考えられる。今後、検査する者は確実に諸帳簿等を確認するとともに、過年度分の決算報告書と関係帳簿の不整合については、精査と原因究明をされたい。

過去に勤務体制、給与、会計処理等について問題が生じたことから、監査を行い指摘及び助言をしている。現在どのように改善されているかを確認したが、経理規程が

いまだ未整備であることは大変遺憾であり、早急に整備し、規程に基づいた経理を行うよう求める。

観光協会は、江田島市の観光資源を活かし、滞留性を高めるため、関係団体と連携して、「兵姫ストライク事業」の実施や各種イベントの企画運営に取り組んでいる。

観光は裾野の広い分野であり、今後とも官民一体となって、観光事業及び各種地域産業の発展に寄与されるよう尽力されたい。

### 第3 終わりに

このたびの監査にあたり、誠意をもって対応していただいた関係者の皆様に対して深甚なる敬意を表します。また、各団体を管轄する関係部局の担当者の前向きな対応に感謝いたします。